

# ありがや新聞

Vol.68

2018年11月22日

編集者:柴田 大輔



このにはしっかりと伝えることができました。がどんなところなのか・どんな生活をしているのかはしっかりと伝えることができました。

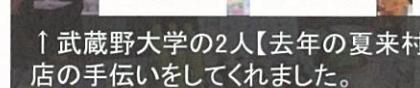
国際基督教大学(ICU)のみんな  
今年の夏に来村♪ 去年の夏に来村♪



わかな めぐみ ちえみ



るえい かんじ



↑武蔵野大学の2人【去年の夏来村】  
店の手伝いをしてくれました。

↑成蹊大学ボランティアサークルUni  
11/23(金)～福島県から  
12/10(月)～全国各地から  
お客様が来るので村内案内します。



↑婦人部のみなさんは  
うどんも売つてました。



9日(金)10日(土)は五平餅作り手  
伝いと飯田市南信濃JAまつり参加でし  
た。当日は餅焼きを担当したのですが、  
周りは炭の熱で暑いし味噌をつけて焼く  
と煙で涙は出るし散々でした。婦人部  
のみなさんはこれを気にする人はいなか  
ったので私もいつの間にか慣れていまし  
た。餅投げ終わりの人の散らばりが異様  
に早いことに気が付きました。

4日(日)にはなす組合種苗ハウ  
ス建設のための作業に参加しました。  
ローラーで地面をならしたのですが、こ  
れがまたいい運動になりました。朝から  
汗かくのは気持ちよくてまだまだ代謝は  
いいんだなと思いました。

前日の物販準備や当日の物販には野村  
氏(伊達市協力隊)の後輩のボランティア  
サークルのみなさんが手伝ってくれまし  
た。また、当日に天龍村に遊びに来たこ  
とがある子たちが来てくれました。多馬  
力だと必然的に準備から片づけまでスム  
ーズでした。久しぶりの再会はとても濃く楽しかったです。

こんにちは。天龍村地域おこし協力隊の本多です。この回覧が到着して間もなく、24節季のうちの「小雪」に入り、季節は冬の入口へ。私が天龍村に来たのは2月の1番寒い頃だったのですが、あっという間に四季が一巡りすると思うと、月日が経つのが早すぎて脅威すら感じてしまいます。そろそろ活動の軸を作つていかねばとは考えていますが、気づけば意識があちこちに散らかって足の踏み場がないような状況になるのが常なので、頭を休める時間の必要性を感じています。

10月のお祭りラッシュがひと段落つき、11月3日には中井侍地区のいもフェスが無事に開催されました。地区の方々や協力隊OBOGをはじめ、予行練習から参加していた方々もいたのですが、私は前日準備～記録係として参加してきました。満島神社秋祭りの荘厳な雰囲気とは一転、飛び入りOK・全員参加型のラフなお祭りで、想像よりもたくさんの方々にお越しいただき、思い思いで場を満喫している光景を見て私も嬉しくなりました。今月の岡山出張で、日本の信仰や祭りについての講義を聞くのが今からとても楽しみです。



これからの季節、屋内作業が増えてきます。そこで、村の方々・例えば80代～90代くらいの、戦前から戦中を生きてきた方に、昔の暮らしや生活の変化の様子を伺ったり、林業・炭焼き・養殖・手しごと・薬草・村に残る伝統料理など、何かに精通している方々からお話を聞き、記録に残す作業をしたいと思っています。もし、インタビューに答えてもいい、とか、こんな達人・名人がいるよ、という情報をお持ちの方(自他推薦問わず)がいらっしゃいましたら、ありが隊(役場・地域振興課)の本多までご連絡をいただけますと幸いです。

先日、村内で草木染め体験をしてきました！琵琶の葉・お茶の葉・くるみの皮など、村の自然資源から色彩が生まれていく光景は、何とも言えない幸せな気持ちにさせてくれます。媒染の原料や、僅かなタイミングの差によっても色合いが変化していく様子が面白く、理科の実験に興奮していた小学生の頃を思い出しました。好きなことの本質は子ども時代からそんなに変わっていないということでしょうか。帰り際に「ここで暮らす楽しみ」という今の心境にぴったりな本をお借りしたので、ゆっくり読ませていただきたいと思います。



十月の二十八日に稻刈りが終わりました。五月頭に育苗を始めて約半年がかかりました。成長がありますが、技術的なところも大きかったのではないかと思っています。一等米にもかかわらず収量がとても少なかつたことがそれを如実に表しているなど感じます。技術的なところ以外では、田んぼとして扱うには困難な圃場があること、獣害の被害にあつたこと、いもち病が広がつたことが主に挙げられます。いもち病は単に予防剤を打つ以外にも技術的に発生を抑えることができるのでも、獣害に関しては意識的に取り組みたいポイントの一つです。獣害に関しては猪による被害が大きく、三分の一を食ひ荒らされた圃場もありました。というのも、獣害に関して楽観的でありすぎて、この程度で大丈夫だろうと対応が甘くなつてしまつたことが一番の原因だと思います。圃場横の斜面に雑木林が広がつてゐることも、猪や鹿にどうぞここをお通り下さいと示してゐるようなもので、しっかりと獣道が幾通りも出来上がつっていました。ネットや電気柵をきちんとしなければならないことはもちろんですが、視界を良くするためにも整備を十一月中に終わらせねばと考えています。そ

ゆうゆう変遷記~天龍村Ver.~

前田です。皆様いかがお過ごしでしょうか  
前回の新聞を書いてから今日までの間も、  
まぐるしく様々なことがありました。  
忘れっぽいので、振り返ることができますよ  
に思い出しながら書こうと思います。

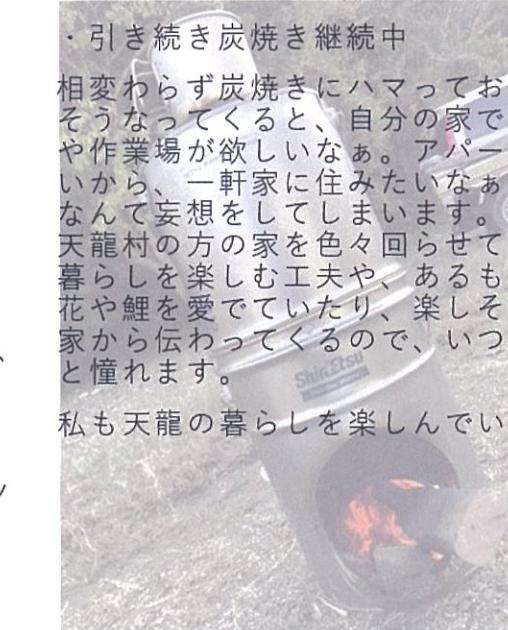
- ・ホーエイの「ロケットストーブを作ろう」という体験講習会に行ってまいりました。ペール缶を利用したロケットストーブの作方を習ってきました。思った以上に火力があり、キャンプにも中々使えます。災害時にも役に立つので、天龍村でもワークショップができたらなあと思っています。民の方からも「ここをこうしたらいい」というのも聞いて、取り入れていったら、天村オリジナルのストーブができるかも？（知らないペール缶がある方、提供していただけないでしょうか！）

- ・「天龍村薪部」(部員募集中)に入部し薪部Tシャツを作りました。

村内で密かに活動している薪部に入部させてもらいました。主に川合で活動しています。せっかく部活するならということで、Tシャツをデザインしてみました。  
薪が足りない方や、割るのが大変だから欲しいという方に、薪を供給していけたらと思っています。

・南天やワラビやタラの芽の山を整備させて  
もらって、栽培方法を習っています。

- 南天や山菜の栽培方法を習っています。  
急斜面のため管理できなくなってしまった小さな山の管理をさせてもらっています。  
JAなどでも南天や山菜の出荷をしてほしいという事だったので、売り先などに繋いでいたらと思っています。



文：前田美沙

今月の随筆(ずいひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。)

- ・運気のいい人が多く持っているもの。
- ・行動力
- ・視野を広げる力
- ・なんでも面白がる力
- ・楽しむ力、楽しませる力
- ・必要なのはプライドではなく美学。

嫌なことばかりに目を向けていると前に進めなくなるので、「何事もいい面と悪い面がある」と思って、いい面を探すように心がけるといい。

「わかつてている」「知つている」からといって「やる」とは限らない。多くの人はやらないものの、やらないから成功しないだけ。

読書することで言葉が増える。言葉が増えれば人の会話も楽しめる。会話が楽しめれば人生を楽しめる。

にせんじカフェ 12月 営業

営業日予定 13日(金)、20日(金)

営業時間 10時から17時ま

営業予定日以外で

できるだけ多く店を開けたい。  
思ひ

A close-up photograph of autumn leaves, likely maple, showing vibrant orange and red colors against a dark background.